

埼玉大学教育学部附属特別支援学校

PTA

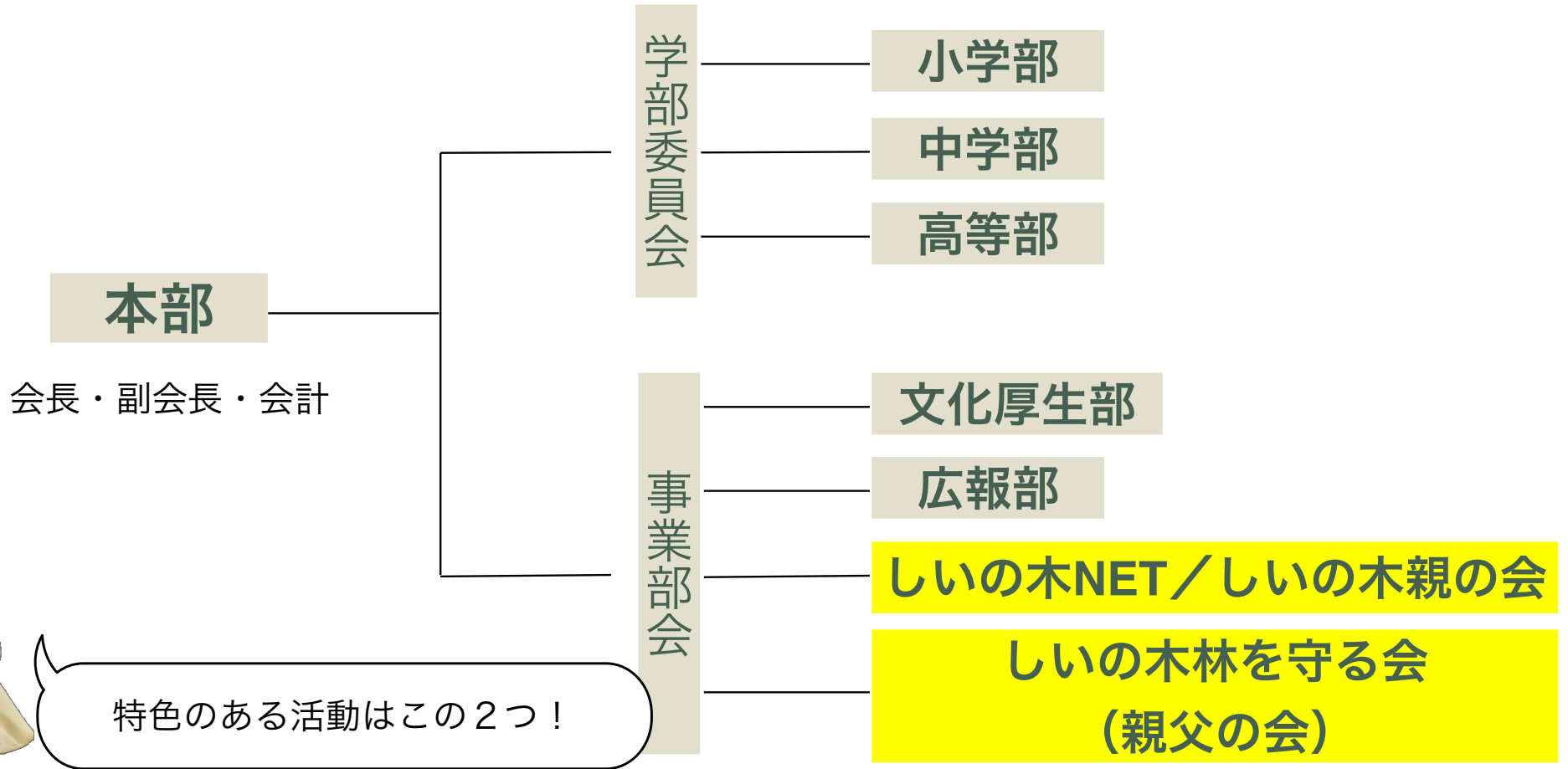
# つながり、支えあうPTA活動

しいの木NET部・しいの木林を守る会

学校公式キャラクター  
ハッピーくん



# 本校のPTA組織



特色のある活動はこの2つ！

同じ路線、地域のつながり  
学部学年を超えたつながり

# しいの木NET

## 居住地域別活動

### 地域・路線ごとの班編成

交流会（情報交換会）  
就労支援事業所の見学  
グループホームなどの見学

通学時の困ったことなど情報交換

高崎線・宇都宮線

川越線

埼京線

東武東上線

徒歩・バス

東武野田線

京浜東北線

埼玉高速鉄道



見学したい事業所などを相談

© 2025 ひまわりデザイン研究所

卒業後も続くつながり  
卒業生・保護者とのつながり

# しいの木NET

## しいの木親の会

卒業生と在校生の同窓会

保護者の情報交換・学習会  
本人たちのレクレーション



卒業生会員の近況報告

親向け情報交換会・講演会

- ・ 親なき後と支援
- ・ 卒業後の生活～仕事を中心に
- ・ 卒業後の生活～生活の変化



ダンス

# しいの木林を守る会

- 開校30周年事業として整備された  
本校のしいの木林を維持管理する目的で発足
- 全児童生徒の父親が所属するPTA組織の一つ
- 主な活動  
校内整備/備蓄庫管理/地域のお祭りボランティア/懇親会

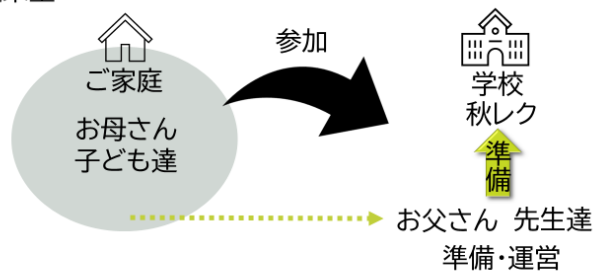


中心テーマ

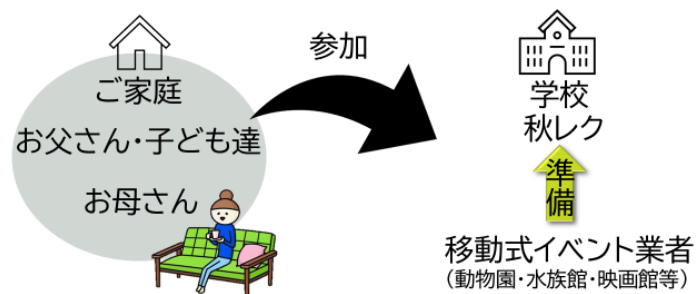
日頃のお母さんへの感謝と  
子どもへの楽しみ提供

父親同士のつながり  
家族同士のつながり  
地域とのつながり

従来型



チャレンジ案



# しいの木林を守る会

## 今年のコンセプト

### 『父子で楽しむレクリエーション』

| 午前     |       |       | お昼       | 午後    |       |        |        |
|--------|-------|-------|----------|-------|-------|--------|--------|
| 9:00   | 10:00 | 11:00 | 12:00    | 13:00 | 14:00 | 15:00  |        |
| 実行委員集合 | 受付    | 開会式   | みんなで準備作業 | ランチ   | 音楽ライブ | 移動式動物園 | 閉会式 撤収 |



## 1 はじめに

本校は、埼玉県さいたま市北区、駅前商店街のあるJR日進駅を最寄りとし、近くに大型スーパーもある住宅街に位置している。スクールバスはなく、保護者の付き添い若しくは一人で、徒歩と、電車やバスなどの公共交通機関を利用して通学している。

PTA活動は、本部の他、小学部、中学部、高等部の各学部、広報部、文化厚生部、しいの木NET部、しいの木林を守る会の4つの事業部会で構成されている。今回は、本校PTAの特色として、児童生徒の多方面にわたる居住地にかかわる「しいのきNET」の活動と、父親のみの事業部「しいのき林を守る会」の活動について発表する。

## 2 それぞれのつながり、支えあい

### (1) しいのきNET

【居住地域別活動】JR日進駅は埼京川越線にあり、埼玉県の拠点である川越駅、大宮駅を經由する。そのため、児童生徒は様々な路線から通学している。本事業部は、児童生徒の居住地及び使用している交通機関沿線「宇都宮線・高崎線方面」「京浜東北線方面」「東武野田線方面」などと、「徒歩」「徒歩・バス」の11のブロックを作り、それぞれの地域で卒業後の進路先となりうる企業や施設の見学等を企画運営したり、情報交換したりする活動に取り組んでいる。

【卒業生とのネットワーク】卒業生と卒業生保護者を中心とする会「しいのき親の会」は、在校生も会員である。部長や部員は理事会や交流会に参加する。交流会は、児童生徒と卒業生の同窓会と、卒業生の就労の様子や余暇のことなどについて保護者の情報交換の場がある。

小学部から高等部、そして卒業生の保護者がともに学び合うことのできる機会は、子どもたちの将来のことを見据えた自立と社会参加への成長の過程を考える機会と、悩みを分かち合える機会となっている。

### (2) しいのき林を守る会

【PTA事業部としての親父の会】開校30周年事業として整備された本校のしいの木林を維持管理する目的で発足し、部長・副部長の他、全児童生徒の父親が所属するPTA組織の1つの部署であり、父親ならではの活動を実施している。

災害用備蓄品の整備と学校行事の際の校内警備、校内除草作業は本会の役目である。

一番の催しは「レクレーション」で、コロナ禍でのオンラインレクや親父バンドのコンサートは、県や全附P連で賞を頂いたこともある。毎日、厳しい天候の中でも頑張って通学する子供達とそれを見守る母親への労いと感謝の気持ちを表すことを目的として取り組み、子供の笑顔や、母親の談笑する姿が見られることに喜びを感じている。

【父親がつながる意義】喧々諤々アイデアを出しあい、集まって準備をすることで、父親たちのつながりが生まれる。話し合いや活動後の懇親会は、障害のある子の親としての相談ができる貴重な機会である。父親が積極的に子供たちにかかわり、父親として子育てをする上での大きな役割を担っていると言える。

## 3 今後の展望

学校や様々な機関から専門的な教育や支援を受け、子供たちは成長していく。しかし、親としての悩みは尽きず、卒業後にも続くだろう。

専門家の意見も参考になるが、先輩の保護者や同じような症状のある子の保護者、同年代の子の保護者と話したことが、「ありがたかった」「一人じゃないと思えた」と感じたと聞く。

保護者同士がつながり、支えあう経験をPTA活動で味わうことができれば、学校を離れても、子供たちと家族が、地域で様々な人々と支えあいながら、豊かに生きていくための助けになるだろう。

つながり、支えあいを広げるPTA活動を今後も行っていきたい。